

出前講座「砂防堰堤の施工と機能、役割について」

- 開催日時：令和元年11月22（金） 13時30分から14時30分
- 開催場所：八幡平山系シガクラ沢砂防堰堤工事、八幡平山系竜川第3砂防堰堤工事
- 参加者：岩手県立盛岡工業高等学校 土木科 3年生39名、先生2名

11月22日（金）、岩手県立盛岡工業高等学校（3年生39名）を対象に、火山活動と火山防災について出前講座（現場見学会）を行いました。

八幡平山系砂防事業における砂防施設の現場見学会により、秋田駒ヶ岳が過去3回噴火していることや土砂災害から地域を守る砂防堰堤の役割、施工方法について学びました。

生徒は、タイプの異なる2つの砂防堰堤について、施工の状況を見ながら、その構造や砂防堰堤の役割について、熱心に学習していました。

見学した生徒からは、「コンクリートはどれぐらい使用しているのですか」、「鋼製スリットの幅（間隔）の違いは」など活発な質問をいただきました。

今日の出前講座を通じて生徒の皆さんは、砂防堰堤の施工の仕方、土石流から地域の施設などを守るための砂防堰堤の機能や仕組みなど、実際に砂防堰堤が造られている様子を見ることで防災に対する意識を深めることが出来たようでした。



見学状況（八幡平山系シガクラ沢砂防堰堤工事）



見学状況（八幡平山系竜川第3砂防堰堤工事）